

横浜市立つづきの丘小学校
令和3年度 学力向上アクションプラン

1 中期学校経営方針

(1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標
<p>○<子どもに「生きる力」を育む学校>としての役割を、教職員が常に意識して教育活動を進めるとともに、子どもたち自身が、自ら「生きていく力をつけよう」とする学び合う学校の実現を目指します。</p> <p>○教職員が相互に連携・啓発する活気ある運営組織を機能させ、「安全で楽しい学校」「わかる・楽しい授業」の実現により、子どもたちに生きる力を育てます。</p> <p>○道徳教育、人権教育、特別支援教育の充実を目指し、自他の命の尊厳を理解し実践する力を育てます。</p> <p>○家庭や地域、ブロック小・中学校との連携と協働を推進し、子どもたちが誇りと愛着をもって荏田東のまちを創ろうとする力を育てます。</p>

(2) 学力向上に向けた重点取組分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野	取組目標	具体的取組
確かな学力 (学習指導)	授業研究や授業評価を活用して授業改善し、授業力向上を目指すことによって、さらに子どもの満足度を高める。	①教科分担制による多様な指導体制により、一人ひとりのよさを認め個々の学力の向上を目指す。 ②日課表の再編成により、学習内容の定着を図るとともに、豊かな体験を通し学びの充実を目指す。 ③GIGA スクールを効果的に運用し、ICTを活用して、子どもの力を最大限に引き出す学びを目指す。
担当 学習評価		

2 横浜市学力学習状況調査等からの実態把握

(1) 学習の状況

学力平均は、昨年度までの結果を見ると偏りがあるが、市平均を上回っているか、平均と同じである。学習意識・生活意識は、学年によって様々である。昨年度に比べて、極端に下降している学年もある。コロナ禍での状況もあり、静かな環境で学習へ取り組む、落ち着いて図書室を利用するといった状況が難しく、学習へ取り組みにくくなっている面も見られる。

(2) 重点的に取り組んでいきたい項目

日課表の再編成により、午前5時間授業の実施をしている。午後の6時間目については、低学年は30分のショートタイム、高学年は60分のロングタイム、または40分授業という形で行っている。

○効果

60分の授業を柔軟に使うことにより、総合や特別活動など、じっくりと取り組める機会が増えた。また午前中の集中力の高い時間帯に学習を行うことで、効率的に授業ができたこと、そして授業への理解度が深まったと考えられる。

○課題

45分から40分へ移行したことにより生まれた単位時間を使うことで教科の基礎基本を身に付けるための時間が確保できた。しかし、学習へ静かな環境で落ち着いて取り組むことが難しい。しっかり取り組むだけでなく、じっくり取り組めるための時間の使い方を行っていく必要があると考えられる。そのために、今年度は水曜日の午後のスタートを「読書タイム」とし、全校一斉に読書をし、学校全体で落ち着いた雰囲気づくりを行っていく予定である。

○ICTの活用について

発達段階に応じた活動を、ICTを活用し、積極的に取り組んでいく。

3 令和3年度 学年・教科等としての具体的取組

1 学年

- 学年全体で行う活動を増やし、音楽や図工等で教科分担制を行うことで学年全体の情報を共有し、指導を行っていく。
- 6 時間目の 30 分を活用し、国語科・算数科での学習の基礎基本の徹底を図る。
- 国語科・算数科等で ICT を活用し、自分の考えや意見を分かりやすく伝えるために写真等を使用し発表する。

2 学年

- 生活科・国語科等で、体験を通して自分の生活について考えられるよう報告する文章や説明する文章を書くなど、表現活動を大切にするとともに、話し合いをする場面をクラス会などで位置づけていく。
- 大切だと思った点を確かめたり、関連した情報を提供したりしながら話し合うように指導する。
- 他学年への発表の機会を設定し、異学年との交流を豊かにする。

3 学年

- 教科分担制を導入し、1つの学級を多くの教師で見っていくことで、児童一人ひとりの学力向上に取り組んでいく。
- 午前は多くのことを学び、午後のスキルタイムで学んだことを深め、学びの充実を目指していく。
- ICT を活用することで、子ども達の考えを今まで以上に円滑に共有し、学びの質を深めていく。

4 学年

- 算数、社会科等で説明する文章、記録・報告する文章を書くなど、表現活動を大切にするとともに、話し合いをする場面を位置付ける。
- 相手の考えを取り入れ自分の考えを述べたりしながら話し合うように指導する。
- 順序を付けたり関連付けたりして考える学習を計画的に位置付ける。

5 学年

- 国語・算数の交換授業を行うことにより、学年全体の学力を把握して共有し、個々に向けた指導をきめ細やかにする。
- 60分のロングタイムでは、これまでに学習したことを活用する活動を取り入れ、身に付けた資質・能力を定着させ、深められるようにする。
- ICT 機器を効果的に活用して、自分の考えを伝えたり、プログラミング的思考を養ったりできるようにする。

6 学年

- 教科等の学習でこれまで身に付けてきた文章を書く能力を自覚的に生かすことができるようにするとともに、話し合いの場면을計画的に位置付ける。
- 曖昧な点を明確にしたり、違った視点を打ち出したりしながら話し合うように指導する。
- 関連付けたり、分類・整理したり、多面的に考えたりする学習と振り返りを計画的に位置付ける。

個別支援学級

- 個別の教育支援計画・個別の指導計画に基づき、発達段階に応じたコミュニケーション手段の活用場面を位置付ける。
- 子どもの発達段階に応じて、自立活動を工夫して必要な取組を行う。
- 交流級や交流学年との無理のない交流計画を計画して実施する。